



## 理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

## 基本方針

- ・ 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- ・ 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- ・ 二次医療を中心に担当します。
- ・ 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- ・ 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

あけましておめでとうございます

# 新年のごあいさつ



新年、明けましておめでとうございます。

昨年、地域の皆様にとっても、私たちにとっても大変な一年でしたが、皆様のご理解とご協力のおかげで、何とか乗り越えることができました。

この場を借りて、心より感謝申し上げます。

## 働き方改革と医療の質

さて、昨今の医療を取り巻く状況は、急速に変化しています。医療技術の進歩に伴い、診療の質は向上していますが、同時に医療現場ではさまざまな課題も浮き彫りになっています。特に、医師をはじめとする医療従事者の働き方改革は、避けて通れない重要なテーマとなっています。

過重な労働や長時間勤務が医療従事者の心身に大きな負担をかけ、医療の質や安全に影響を及ぼす可能性があります。この問題に対応するため、当院では、医師の働き方改革に積極的に取り組んでいます。具体的には、業務の効率化を進め、チーム医療の強化や、ワークシェアリングの導入など、医師の負担を軽減するための施策を講じています。ただ、問題点もあります。医師はもちろん労働者ですが、生涯続く学習者としての側面もあります。

医療水準の維持と向上のためには自己研鑽も必要です。とくに知力の旺盛な若い世代に徹底して習得した経験や学習は一生の財産になります。成長のための研鑽や経験を積むことが働き方改革により妨げられるようであれば、医療水準の維持・向上が難しくなります。

地域の皆様が健康で安心して暮らせるよう、私たちは今後も医療の質の向上に努めてまいります。そして、医療従事者が働きやすい環境を整え、持続可能な医療の提供を実現することが、地域医療の発展につながると信じています。



今年も、皆様のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとって、健康で幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

鳥取市立病院

病院長 大石 正博



ダヴィンチ  
活躍中

鳥取市立病院では、令和3年12月より手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を導入しています。泌尿器科で前立腺がん、腎臓がんなどの症例に対して、ダヴィンチ手術を実施しています。この度当院は令和6年10月より結腸がんに対してダヴィンチ手術が保険適用で実施できるようになりました。

## 結腸がん手術

外科 堀直人

2022年4月に結腸がんに対するロボット手術が保険収載され、当院では2023年4月に施設の導入要件を満たしました。結腸がんにおけるロボット手術時代の到来を見据え、横浜の先進施設に国内留学して学んでくるなど、導入に向けた準備をしました。そして、2024年3月に待望の第1例を行い、その後も症例を重ね10月から保険算定を開始しました。

ダヴィンチは局地的な細かい作業が得意なため、切るラインをより精密に決定できます。また、切った腸と腸をつなぐ作業（吻合ふんごうといいます）において威力を発揮します。従来の腹腔鏡手術では体の外に腸を引き出して吻合することが多かったのですが、ダヴィンチでは比較的容易に体の中で吻合できます。これらの利点の結果として、ロボット手術は腹腔鏡手術に比べて術後の腸管蠕動ぜんどうの回復を早め、早期退院につながるという報告が増えています。

一方ダヴィンチは広い範囲の操作は苦手です。結腸がん手術は比較的広い範囲の操作が必要であり、ロボット特有の工夫が必要になります。ロボットの欠点を克服し、利点を活かせるよう技術を磨いていきたいと思っています。

## 泌尿器科領域の手術

泌尿器科 倉繁拓志

突然ですが、皆様はロボットというと何を思い浮かべますか？ アニメの主人公や、超人的な動きをする映画のキャラクターなどを想像するのではないのでしょうか。それではロボット手術はどうでしょうか。私の身近な方に聞いてみると、「ブラックジャックのような天才外科医のロボットが自動的にする手術」と答えてくれました。確かに、これも非常に夢のある話で、個人的には是非みてみたい気がします。

現実には少し異なっており、実際の手術支援ロボット「ダヴィンチ」について簡単に説明します。ダヴィンチは4本の腕を持ち、そのうちの1本は目に相当する内視鏡（カメラ）、残りの3本にハサミなどつけ、体に小さく開けた穴からこれらを体内に挿入し、外科医が少し離れた場所から操縦して行う手術で、従来の開腹手術などと比較すると次のページに記すようなメリットがあります。泌尿器科の分野では、前立腺がん、腎臓がん、膀胱がん、女性の骨盤臓器脱などに認められており、それ以外の手術は以前と同じ開腹術や腹腔鏡手術で行うことになります。

当院では何が患者さんに最適な治療かを十分検討し、今後も最良の医療を提供して参ります。

# ダヴィンチ手術

## 手術支援ロボットを使用した手術とは?



患者さんのお腹に数カ所穴をあけ、鉗子、メス、カメラを挿入します。執刀医は、高倍率3Dモニターの鮮明な拡大画像を見ながら、サージョンコンソールという操縦席から遠隔で手術支援ロボットのアームについている専用カメラや鉗子などを操作して手術を行います。



コンソールからロボットアームを操作して手術を行う



手術中は支援スタッフが常駐する

## ダヴィンチ手術のメリットは？



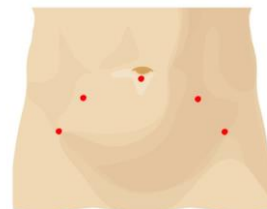
### 患者さんのメリット

- 傷口が小さく、出血量が少ない
- 術後の痛みが軽減
- 早期体力回復が見込まれ、入院期間短縮につながる
- 機能温存が向上



### 執刀医のメリット

- 高画質な3D拡大映像で血管や神経などの損傷を回避
- 人間の指より自由度が高く精密な操作が可能
- 手振れ防止機能による正確な操作



ロボット手術における切開部



鉗子の先端部分(米粒との大きさ比較)

## ダヴィンチ手術の費用は？

ダヴィンチによる各種手術の保険適用は拡大しています。そのため、術式によっては従来の手術と変わらない医療費で先進的な医療を受けていただくことが可能です。

また、保険適用となる術式は、高額療養費制度を利用することで医療費の負担を更に抑えることができます。

## ダヴィンチ手術 当院の実績



### 外科領域

結腸がん 14件  
(2024年3月～12月)

### 泌尿器科領域

前立腺がん 89件  
腎がん 27件  
膀胱がん 6件  
骨盤臓器脱 49件  
その他 5件

(2022年2月～2024年12月)